

海外の最先端ICT技術で
事業課題を解決しませんか？

PROJECT

ビジネスマッチング&パイロット事業

全世界ICT産業連携振興プロジェクト

アルメニア | スリランカ | パキスタン

ビジネスのプロとブリッジエンジニア
による伴走支援体制だから安心



01 | PROJECT

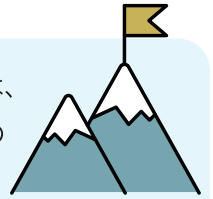
プロジェクトについて



Deloitte.
デロイトトーマツ

JDS 株式会社
日本開発サービス
Japan Development Service Co., Ltd.

プロジェクト概要



技術協力プロジェクト「全世界ICT産業連携振興プロジェクト(アルメニア・スリランカ・パキスタン)」では、日本企業とアルメニア、スリランカ、パキスタン(以下、対象国)のICT企業(大企業・スタートアップ等)との連携促進を目的とし、日本企業と対象国企業のマッチングやパイロット事業を実施いたします。

本プロジェクトを通じて、日本と対象国、それぞれの強みを活かした連携を促進することで、両国の発展に貢献致します。

本プログラムでは、アルメニア・スリランカ・パキスタンのICT・ハイテク企業と日系企業のマッチング・パイロット事業の組成を委託先であるデロイトと日本開発サービスがサポートします。

主催

主催者: JICA(独立行政法人 国際協力機構)
委託先: 合同会社デロイト トーマツ
デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社
株式会社日本開発サービス

プログラム 目的

各国: 日系企業と各国企業の協業事業を通して、各国のICT・ハイテク産業開発を促進する
各国企業: 日系企業との協業及び日本進出の機会を創出する
日系企業: 各国企業との協業を通して、新たな事業機会を創出する

日系企業への 提供価値

- 1 各国企業とのマッチング
- 2 パイロット事業の機会提供
- 3 デリゲーション機会の提供 - 各国企業の来日、日系企業の相手国への訪問
- 4 パイロット事業費用の補助(最大200万円/件)
- 5 上記に係るデロイト・日本開発サービスの伴走支援

採択 対象

企業: 対象国企業との協業を検討する日系企業
採択企業数: パイロット事業組成は全10件を想定

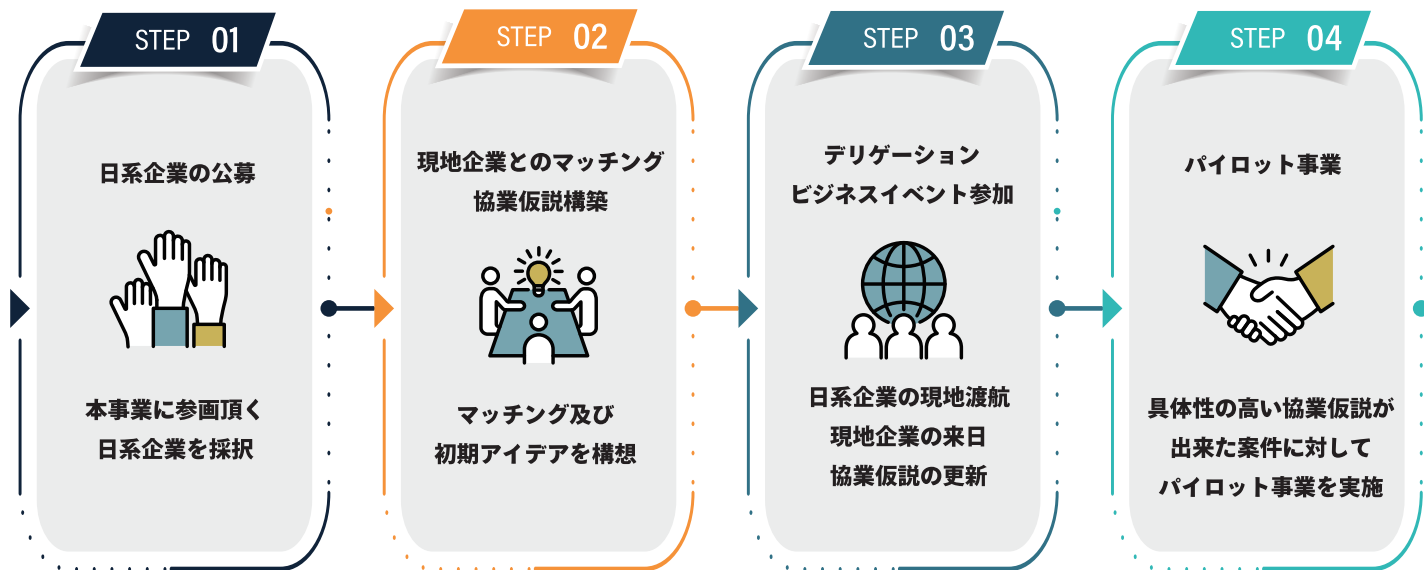
マッチング 対象

国: アルメニア・スリランカ・パキスタン
企業: 各国のICT/ハイテク関連の大企業・中小企業・スタートアップ
期間: マッチング~パイロット事業完了まで(ケースにより半年~1年程度を想定)

02 | PROCESS

プロジェクトの流れ

日系企業と現地企業のマッチング及びパイロットの実施をデロイトトーマツ・日本開発サービスが伴走で支援します。



ビジネスマッチング

採択した日系企業と現地ICT企業(大企業・スタートアップ含む)とのマッチングを行い、マッチングした企業間で協業仮説となる初期の事業アイデアを構想します。



パイロット事業

マッチングが実現し具体性の高い協業仮説が出来た案件に対してパイロット事業を実施します。



デリゲーション、各国イベント参加

両国開催イベントへの参加を企画し、イベントを通じた両国企業の更なる接点構築を促進いたします。また、両国への渡航などを含む、対象国企業と日本企業の面談を対面にて実施し、両国企業の関係強化を促進いたします。



対象国企業向け研修

日本企業との円滑な連携に向けて、対象国企業向けに日本文化、市場、ビジネス習慣などに関する研修を実施いたします。



費用について

現地企業とのパイロット事業費用として200万円を目安に本プロジェクトが費用負担いたします。

03 | COUNTRIES

アルメニア・パキスタン・スリランカ



アルメニア、パキスタン、スリランカの共通項として、特にAIを駆使したソフトウェア開発が挙げられます。実際に、米国やUK等の欧米を中心に、グローバルで高いプレゼンスを有しています。



また、欧米のグローバルテック企業は、現地に研究開発センターやイノベーションセンターを設置するなど、現地のテックタレントを高く評価しています。



そして、日本でも現地の高い技術力に気付いた企業が現地企業と協業するケースが増えてきており、大手から中小企業、スタートアップまで、新たなビジネスチャンスの創出や競争優位性を構築しています。

人口に占めるユニコーン企業数は、日本の

20倍

以上

Armenia アルメニア



人口は300万人程度の小国ですが、ソ連時代のIT産業開発に端を発し、ハイテク産業（ICT産業を含む）が大変発展しています。近年はAIやB2B SaaS領域のスタートアップが勃興している他、半導体の研究開発も非常に盛んに行われています。

競争優位性領域



AI



ソフトウェア
開発



ハードウェア
システム開発

日本人よりも高いITエンジニアスキル*

5%

27%



Pakistan パキスタン



人口約2億2000万人を抱え、ICT分野のアウトソーシング関連の輸出が盛んな他、近年はAI、IoT、AR/VRなどのICT領域のスタートアップが勃興しています。

競争優位性領域



AI



ソフトウェア
開発



ゲーム
開発

*IPAが提供するiコンピテンシーディクショナリーを元に7段階でレベル分けし自己評価した結果、レベル5以上のエンジニア割合は、日本の5.2%に対して、パキスタンは27.6%。

スリランカの高度IT人材の評価「価格競争力」アジア地域エコシステム*

1位

Sri Lanka スリランカ



人口約2000万人を擁しており、欧米の証券取引所プラットフォームの開発をはじめ、日本を含む先進国企業との協業事例も多数有するなど、ICT産業が非常に発展しています。

競争優位性領域



AI



ソフトウェア
開発



パーティカル
市場向け

04 | COLLABORATION

協業パターン

+αの協業メリット
現地企業の海外
ネットワークも活用可

日本企業の事業課題・ニーズに応じた
柔軟な協業パターン



ソフトウェア開発

01 現地企業にソフトウェア開発を委託する
(オフショア開発)



このような課題・ニーズを抱える企業にオススメ

- ・ 自社の顧客サービスや業務オペレーションをDX化したい。
- ・ 既存のオフショア開発・運用コストが増加しており、技術力及び価格競争力のあるオフショア先を探している。

02 現地企業との共同研究・開発により
自社の競争優位性を強化する



- ・ イノベーションに繋がる新規事業やプロダクト開発が会社の喫緊の課題となっている。
- ・ ディープテック領域でブレイクスルーとなる高度な問題解決力及びエンジニアスキルが社内に不足している。

03 自社のIT人材が足りないため、
現地IT人材を起用する



- ・ 自社エンジニアの数が慢性的に足りておらず、顧客サービスの低下や機会損失に繋がっている。
- ・ 一時的にエンジニアの数が足りなくなった時に、いつでも柔軟に人材を手配できる体制を構築したい。

プロダクト

04 事業課題解決に寄与する
現地企業のプロダクトを利用する



- ・ 自社バリューチェーン上の特定領域において慢性的な課題が発生しており収益が低下している。
- ・ 国内テック企業による現行のプロダクト(SaaS等)では解決できない事業課題がある。

05 現地IT企業と日本市場における
代理店契約を締結し営業を強化する



- ・ 売上増加に寄与する顧客向けプロダクトを探している。
- ・ 海外との取引経験を活かして海外商材の代理店事業を行うために候補先を探している。
- ・ 自社DX支援メニューに日本初プロダクトを導入したい。

05 | NEXT ACTION

次のステップ



自社の課題を解決できる現地テック企業を探してみよう

アルメニア、パキスタン、スリランカ各国の特設プロモーションサイトにおいて、特に競争優位性の高い企業をご紹介します。



プロジェクト運営事務局に 相談してみよう

貴社の課題やニーズをヒアリングの上、協業可能性についてご提案いたします。



パイロットプロジェクトに 応募してみよう

新たなビジネスの創出や競争優位性の構築に繋がるサポートをいたします。



上記各国のWEBサイトからご相談・ご応募可能です。



お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

宛先: 全世界ICT産業連携振興プロジェクト事務局(アルメニア・スリランカ・パキスタン)

メールアドレス: jica_collaboration_ict@tohmatu.co.jp

免責事項

プロジェクトの内容等については、やむを得ない事情や、より良いプログラム提供のため変更される可能性がありますのでご了承ください。

本プロジェクトで提供された情報を、事務局の承諾なしに公開・商用利用してはなりません。

自然災害など、緊急時の安全対策には万全を期していますが、プロジェクト参加中に生じた人的・金銭的損害を補償することは出来ません。ご自身で保険等への加入をお願いいたします。